

# 合併後最大規模の予算

一般会計 **231億8,000万円** (対前年比 6.2%増)

特別会計(9会計) **128億2,953万円** (対前年比 0.3%増)

企業会計(3会計) **22億6,872万円** (対前年比 5.9%増)

**総額 382億7,825万円** を可決

新クリーンセンター建設工事や耐震性確保のための庁舎・振興事務所整備事業など、大型事業が大きく影響し合併後最大規模の予算が上程され、審議を重ね可決しました。人口減少による市税の落ち込みや普通交付税の段階的な縮減は避けることができません、下呂市を取り巻く環境は、今後ますます厳しくなることが予想されます。引き続き最少の経費で最大の効果を挙げるという自治体運営の原則をあらゆる方面に展開し、きめ細やかな予算配分で住みよいまちを目指します。

## 人口減少対策プロジェクト

### 【保健・医療施策】

- 医師招へい事業…………… 1,890 万円
- 特定健康診査事業(国民健康保険事業特別会計(事業勘定)) 211 万円

### 【福祉施策・子育て支援】

- ふるさと納税を活用した女性の働き方改革推進事業 1,825 万円
- 結婚支援対策事業…………… 508 万円
- 学童保育クラブ運営事業…………… 2,504 万円
- 岐阜県教職員を社会教育主事として配置…………… 1,291 万円

### 【住宅】

- 住宅・建築物安全ストック形成事業…………… 2,561 万円



(仮称) 観光交流センターが計画される旧下呂館跡地

### 【教育施策】

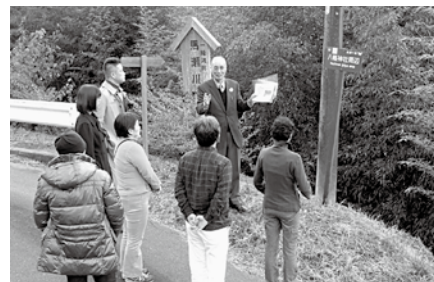
- 金山小学校屋内運動場改修事業・ 1,600 万円
- 金山中学校校舎防水改修事業… 1,890 万円
- 北部学校給食センター改築事業 5,458 万円

### 【移住・定住促進】

- 移住定住促進事業…………… 1,246 万円



女性の働き方改革推進事業



移住体験ツアー(馬瀬地域 平成28年12月)

### 【観光振興】

- 観光戦略強化事業…………… 1億2,760 万円
- 都市再生整備事業…………… 1億290 万円
- 社会資本整備総合交付金事業… 6,050 万円

### 【商工業振興】

- 小口融資事業…………… 2億3,819 万円
- 経営安定資金融資事業…………… 3億3,902 万円
- 地元就職支援事業…………… 751 万円
- 空き店舗等活用支援事業助成費… 506 万円
- 創業支援事業…………… 595 万円
- プレミアム商品券発行事業…………… 1,085 万円

### 【農業振興】

- 産地パワーアップ事業…………… 1,940 万円
- 強い畜産構造改革支援事業…………… 1,918 万円

# 平成29年度一般会計は

## 地域づくりのしくみプロジェクト

### 【福祉施策】

- 生活支援体制整備事業費（介護保険特別会計（保険事業勘定））  
679万円

### 【地域振興】

- 重点道の駅整備事業……………500万円
- 各地域振興事業……………1億3,683万円
- 地域おこし協力隊事業……………2,685万円

### 【防災】

- 災害対策諸経費……………1,211万円

### 【農業振興費】

- 県営経営体育成基盤整備事業……………657万円
- 農地利用集積促進事業……………317万円



重点道の駅として整備される  
「飛騨金山めく森の里温泉駅」



NPO法人サン・はぎわらが運営する「みなみこども園」

## 行財政改革推進プロジェクト

- ◎下呂総合庁舎使用管理費……………671万円
- ◎ふるさと寄附金推進事業……………1,720万円
- ◎賦課徴収諸経費……………1,429万円
- ◎保育所公設民営事業……………4億4,770万円

## その他の主要事業

### 【防災・消防】

- 庁舎・振興事務所整備事業……………9億2,965万円
- 中消防署消防自動車等購入事業……………1億1,937万円
- 小坂第2分団第1部消防詰所新築事業……………2,860万円

### 【保健・医療施策】

- 健康診査費……………4,529万円

### 【交通】

- 地域公共交通網形成計画調査策定事業……………1,123万円

### 【林業振興】

- 県単林道改良事業……………5,182万円

### 【環境施策】

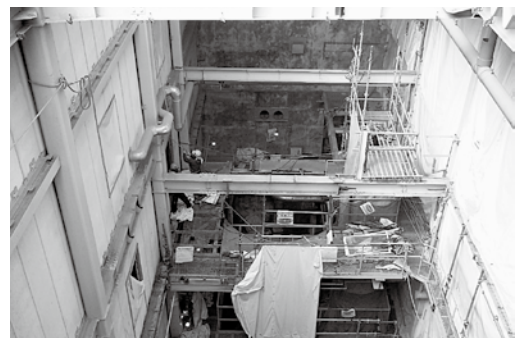
- 環境衛生施設整備事業……………20億4,512万円

### 【下水道】

- 公共下呂処理区整備費（下水道事業特別会計）  
1億3,296万円
- 羽根水処理センター機能強化事業（下水道事業特別会計）  
2,807万円



交通形態を調査し利便性向上を目指すバス事業



新クリーンセンター建設のため現在の炉を解体中（3月撮影）



## 総務教育民生常任委員会

### 付託された14議案全て可決すべきもの

3月10日、委員会を開催し、付託された14議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

**Q** 下呂市有線テレビ施設の指定管理者の指定について（平成30年度からシーシーエヌ㈱に指定するもの）  
**A** 今回指定をしてから、1年間の猶予期間を設ける理由は、

**Q** 現指定管理者であるNTTビジネスソリューションズ㈱と、シーシーエヌ㈱の間で業務引き継ぎなどを行う必要があることから、1年間の引継期間を設け前倒しで業者を決定し、30年度から指定管理とするものです。

**Q** 下呂市老人福祉施設の指定管理者の指定について（社会福祉法人下呂福祉会に指定するもの）

**A** 指定期間を2年間とする理由は、公の施設の見直しに向け、経営面やサービスの安定などを見極めるため、期間を2年間としました。  
**Q** 下呂市長等の給付の特例に関する条例の一部を改正する条例について（副市長、教育長の給与を減額し財源を確保）



社会福祉法人下呂福祉会が管理運営する「あさぎりサニーランド」

**Q** 減額に対するそれぞれの思いは。  
**A** 社会教育主事を配置し、青少年の健全育成、ふるさと教育を含め学校家庭等の連携した地域づくりを進めていくため、給与を減額し財源に充てていきます。

**Q** 下呂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について（国民健康保険税の賦課方式の一部を変更）  
**A** 保険税額を減額できた理由は、

**Q** 前期高齢者交付金の額が見込みより多く交付された事や、税の収納率アップ、特別調整交付金の収入が多かったなどの要因で減額できました。

## 産業経済常任委員会

### 付託された9議案全て可決すべきもの

3月13日、委員会を開催し、付託された9議案を審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

**Q** 市道の路線認定について（井尻線、中原東34号線などの路線認定）  
**A** 市道の路線認定の基準は、

**Q** 市道に認定できる道路は、「その起点が供用開始されている道路法に規定する道路に接続し、道路の治線又は終点附近に住宅もしくは公共施設に連絡するもの」、「幅員4.5以上、舗装及び側溝等が整備されている道路であること」などの基準があります。

**Q** 県から移譲を受けた道は全て市道に認定し管理していくのか。  
**A** 市道として認定したうえで、通行を制限するものや法定外公共物（赤道）として管理するものを含め、状況に応じた対応をします。

**Q** 下呂市フィッシングセンター水辺の館の指定管理者の指定について（南飛騨馬瀬川観光協会に指定するもの）  
**A** 美輝の里、道の駅、フィッシングセンター水辺の館の3つの施設を一体的に管理し、効率的、継続的な経営方法を検討し、0円で指定管理も視野に入れて考えているため、指定管理期間を1年間としています。

**Q** 指定管理期間が1年間となっている理由は、



南飛騨馬瀬川観光協会が管理運営する「フィッシングセンター水辺の館」

**Q** 28年度に料金の見直しをされたが、どうだったか。  
**A** スムーズに新料金体系に移行でき、苦情などはないと聞いています。

**Q** 下呂市金山森林総合利用促進施設の指定管理者の指定について（有限会社ら掛観光開発に指定するもの）

# 市外視察

## 産業経済常任委員会

【2月8日～9日】

### ◆視察先

三重県三重郡菟野町「アクア・イグニス」

### ◆目的

地産地消による観光への取り組みについて学び、下呂市における地産地消のあり方や観光振興の方向性について考える。

### ◆内容

東名阪自動車道四日市インターから車で15分の場所にあるアクア・イグニスを視察しました。民間の企業が経営する同施設は、温泉施設、宿泊棟のほかイタリアンレストランをはじめ、食事処、パティisserieなどがあり、ケーキやジャムの販売など多種多様な店舗が入っていました。食材については、直接地元農家から買い付けているものもありますが、多くは近隣の市場で調達されており、地元の食材を中心に料理を提供するなど地産地消が推進されていました。また店舗で使用するイチゴは、施設内のビニールハウスで自家栽培されています。多くの人を集めている要因は、有名パティシエの起用



アクアイグニスの宿泊棟

や、多種多様なお客様の要望に際えることも成功の秘訣だと感じました。

地産地消を推進して、旬のものが市内すべての地域に提供できる体制や、食材の調達の仕組みづくりがこれからの下呂市にとって必要です。

### ◆視察先

愛知県豊田市「豊田市中核製材工場」

### ◆目的

豊田市が進める中核製材工場の概要を学び、下呂市の林業振興の方向性を探る。

### ◆内容

豊田市森林課の職員から、中核

製材工場誘致事業の概要について説明を受けました。製材工場誘致は、地域材の加工と流通の流れを生み出し、木材の循環利用の促進を図ることを目的としています。同時に雇用の増加にも期待を寄せています。植林から製材加工、販売まで一貫生産することで、地域材のブランド化を目指していました。

山林が総面積の9割を占める下呂市にとって、林業振興は一つの起爆剤となる可能性を秘めています。豊田市をはじめ他市の取り組みを参考に、下呂市に合った林業振興施策を引き続き考えていきます。

### ◆視察先

三重県鳥羽市「鳥羽市エコツーリズム推進協議会」

### ◆目的

下呂市におけるエコツーリズムの進め方やあり方を探る。

### ◆内容

三重県鳥羽市観光課の職員から、鳥羽市エコツーリズム推進協議会の概要や取り組みについて、説明を受けました。鳥羽市の魅力である豊かな自然や歴史、文化などの地域資源の保全を図りつつ、観光業をはじめとした各種産業の

持続と活性化を目的に取り組みられています。単独で実施されていたさまざまな体験ツアーをまとめ、観光業と水産業を営む団体が情報を共有するなど、観光産業の活性化に役立てています。

下呂市においても、体験型メニューが計画されています。小坂の滝めぐり、金山の筋骨めぐりなど、温泉と体験ツアーをセットにして、下呂市の魅力発信を力強く進めることが必要です。海とは違った形で山の魅力、山村の風景など自然を活用したツーリズムの実現に結びつけることを、市民の皆さんと一緒に考えていきます。



鳥羽市エコツーリズムの説明を受ける